

大市民ゆうみん

市民の栄誉となる功績のあった個人・団体

をたたえる福島民友新聞社の「第24回みんゆう市民大賞」の受賞者が決まった。

受賞するのは、「芸術文化賞」が、親子で

学校などを訪問、演奏を披露している福島市の「長谷川ファミリー」、「スポーツ賞」

が箱根駅伝で東洋大を3度の総合優勝に導いた同大陸上競技部監督の酒井俊幸さん

さん、石川町出らいたい。

身、「ふるさと賞」は常磐炭田

の歴史を後世に伝える活動を続けて

いる「みろく沢炭鉱資料館」と、長女で

バイオリン奏者の千鶴さん、長男で

チェロ奏者の弘樹さんの3人の親子で構成す

る。「人の心を演奏で温かくで

れぞれ異なるが、共通している

「きたら」との思いで開いてきた

力を引き出した。いまは「東京

みんゆう市民大賞は89年に創

設され、これまでに21団体、21

人が受賞している。今回1団体

と2個人が、新たに加わることを

本県の誇りとし、あらためて

功績をたたえたい。

本県は復興の途上にあるが、

受賞者らの明日に向かって一歩

を披露している福島市の「長谷川ファミリー」、「スポーツ賞」

さらには活躍を続け、東日本大震災と原発事故からの復興を目指す

市民に勇気と活力を与えても

感動させている。

酒井さんは2009(平成21)

年4月、学法石川高陸上部監督

を務め、1989年に手作りの資

料館「みろく沢炭鉱資料館」を

開設した。展示資料などは国の

近代化産業遺産やいわき市有形

民俗文化財に指定され、渡辺さ

んの解説とともに、炭鉱の歴史

をいまに伝えている。

みんゆう市民大賞は89年に創

設され、これまでに21団体、21

人が受賞している。今回1団体

と2個人が、新たに加わることを

本県の誇りとし、あらためて

功績をたたえたい。

温かい心とひたむきな努力

の目標に向かって地道に努力

する姿であり、ふるさとに対す

る温かいまなざしだ。各分野で

奏を、親しみやすいスタイルで

披露し、幅広い年齢層の聴衆を

た後、炭鉱の閉山とともに養鶏

業に転身。仕事の傍ら、炭鉱に

酒井さんは2009(平成21)

年4月、学法石川高陸上部監督

を務め、1989年に手作りの資